

心臓突然死 AED導入10周年記念シンポジウム



■日時：2014年7月27日(日) 13:00～16:40

■参加料：無料

■会場：グランドプリンスホテル高輪 地下1階「プリンスルーム」

■定員：500名(当日、先着順)

13:00 総合司会：小林 美幸

はじめに：奥村 謙 日本不整脈学会会頭

開会の辞：新田 隆 日本不整脈学会学術大会大会長

13:10 メッセージソング：青木 まり子

13:20～13:55 第I部 突然死の現実とAEDの威力

座長：新博次 日本医科大学多摩永山病院長

■弟、松田直樹を突然失った家族の思い

演者：松田 真紀

■心臓突然死を救うAEDとは

演者：三田村 秀雄 国家公務員共済組合連合会立川病院長

■助けなければ、そして私は電気ショックボタンを押した

演者：福田 瑞穂

13:55～14:25 第II部 救命率改善に向けた社会の取り組み

座長：坂本 哲也 帝京大学医学部救急医学講座主任教授

■AED配置のポイントとスポーツ現場におけるAED導入の効果

演者：田中 秀治 国士舘大学大学院救急システム研究科主任教授、国士舘大学スポーツ医科学科教授、国士舘大学ウェルネスリサーチセンター、国士舘大学防災・救急救助総合研究所

■市民への簡易蘇生法の普及促進と学校教育の勧め

演者：石見 拓 京都大学環境安全保健機構附属健康科学センター准教授

休憩 (15分)

14:40～15:20 第III部 ネクストステップ:突然死を未然に防ぐ最新治療

座長：新田 隆 日本医科大学心臓血管外科教授

■何が突然死を招き、それは予知できるのか

演者：池田 隆徳 東邦大学医学部内科学講座循環器内科学分野教授

■突然死リスクが予想される人への最新アプローチ

演者：新田 隆 日本医科大学心臓血管外科教授

■心室細動からの生還 -自らの経験から心臓突然死を考える-

演者：木村 謙一 医療法人明友会さくら内科・循環器科クリニック理事長兼院長

15:20～16:00 第IV部 パネルディスカッション「救える命を救うには」

司会：三田村 秀雄 国家公務員共済組合連合会立川病院長

アシスタント：小林 美幸

パネリスト：石見 拓 京都大学環境安全保健機構附属健康科学センター准教授

坂本 哲也 帝京大学医学部救急医学講座主任教授

桐淵 博 埼玉大学教育学部教授、さいたま市政策アドバイザー

長谷川 学 厚生労働省医政局指導課課長補佐

平子 義紀 アビタル前編集長

石橋 由基 慶應大学医学部4年

16:00 閉会の辞

新博次 日本心電学会理事長、日本心電学会学術集会大会長

16:10～16:40 PUSHコース (定員80名、事前申込先着順)

指導：石見 拓 京都大学環境安全保健機構附属健康科学センター准教授

武田 聡 東京慈恵会医科大学救急医学講座准教授